

選挙学び模擬投票

市選管 尾瀬高で出前授業

沼田 選挙
を理解し、政

治への関心を高めてもらおうと沼田市選挙管理委員会は28日、同市の尾瀬高（小林由隆校長）で出前授業を行った。133年生の170人が講義や模擬投票を通して選挙の仕組みを学んだ。



県選管が昨年度末に作成した「選挙出前・自前授業実施マニュアル」に沿って授業を進めた。生徒は講義で投票の意義と選挙運動について理解を深めた後、架空の県知事選を想定した模擬投票を体験した。写真。

10月に行われる片品村長選

の投票権を持つ佐藤一太さん（3年）は「参考になった。政策を見比べて投票に行きたい」とし、同月に町長選が行われるみなかみ町在住の小野太一さん（同）は「誕生日の関係で当日は投票できないが、関心を持って選挙を見守りたい」と話した。